

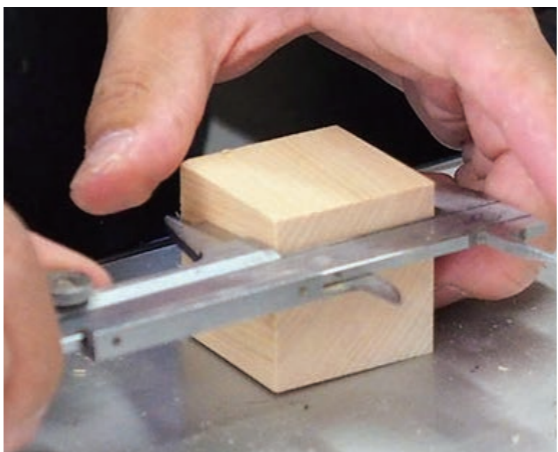
Wood Cubes
 粘り強くなる積み木 since 2003

子どもたちに本物を ~ウッドキューブ~ 株式会社 井筒屋

70年続く木製家具の専門会社、株式会社井筒屋は17年前にオリジナルの積み木の製作を始めました。最初はあくまでも贈答品として製作した積み木でしたが、今では多くのお客様に愛され、日本ギフト大賞2020高知賞を受賞する快挙を成し遂げています。同社の積み木が人気を博している秘密について、井筒社長にお話をうかがいました。

ドイツへの視察

積み木作りを始めたきっかけは、井筒社長がライオンズクラブのメンバーとして活動していた20年前にさかのぼります。当時ライオンズクラブの20周年記念事業の委員長を務めていた井筒社長は記念事業の企画について悩んでいました。「御社は木製品を扱っているのだから、子供たち向けの贈り物はどうか」とアドバイスは受けていたものの、何が子供たちに喜ばれるのか考えあぐねていました。腕の良い職人はいるので木の加工はお手の物です。そこで、おもちゃの本場であるドイツに視察に行こうと思いつき、ドイツ東部の小さな町ザイフェンに向かいました。木製のおもちゃ作りが有名で、世界中から観光客が訪れる町です。わずかの時間



一つひとつ丁寧に採寸する様子

来上がったのが、「ウッドキューブ」でした。

良いものを子供たちに

手触りが良く、ヒノキの香りとぬくもりを感じられる積み木は、口コミによって広まり、これまでに6000セットを売り上げるなど、多くのお客様の心をつかんでいます。安全面を考慮して、面取りが施され、一個一個丁寧に紙やすりで表面が磨かれています。ま

た、口に入れても大丈夫なように無塗装で仕上げられています。お客様からは、一つ一つのピースのサイズがミリリタがわず正確なので、「買い足して何を作っても綺麗に出来る」「子どもが背丈以上に積み上げられる」と評判です。まさに、「社長のこだわりと職人の腕が光る逸品です」。「良いものを子供たちに提供したい」と語る井筒社長の眼差しは優しきで溢れていました。

成し、無事市内の保育園に贈呈することができました。

ウッドキューブの誕生

記念事業ののち、井筒屋の積み木を寄贈された保育園の保育士や保護者から、家庭用で使える積み木の販売について問い合わせが届くようになりました。また、周囲からは高知県産のヒノキを使って積み木を使ってみてはどうかと提案もいただくようになり、井筒社長は、今度は積み木の商品化に向けて動き始めました。

材料の木は本業で取引があったことから、四万十ヒノキを使用することになりました。ヒノキの積み木は、乾燥の度合いによって季節でわずかに伸縮するため積み木に必要なミリ単位の寸法合わせが出来なくなります。また、油分が多く、積み木の表面に油染みが出て失敗することもありました。木を乾燥しすぎるとヒノキの香りが無くなってしまいうため、油分を飛ばしながら香りを残すことができるよう絶妙な乾燥度合いも編み出しました。子供たちが想像力を働かせて遊ぶことができるセット数の検討や商標登録の申請について取り組みを進め、1年がかりで出



名入れもできます



【企業プロフィール】
 株式会社井筒屋
 〒780-8063
 高知市朝倉内 2137-2
 TEL;088-844-1891(代)
 FAX;088-844-1844
 http://izutsu-ya.com
 E-mail kagu@izutsu-ya.com

指の力が必要なと同様、積み木も積み上げる際に指の力が必要です。積み木にはお箸を持つ力をはぐくむ役割があるといえます。また、積み上げるにはじつと我慢する根気強さも必要です。幼児教育では、絵本、歌、積み木が大切な要素だという保育士もいる程、積み木の役割は大きいということが分かりました。「子どもたちに本物の積み木を作る」そう決心した井筒社長は職人と試行錯誤を繰り返しながら製作しました。程なく、納得のいく積み木が完



日本ギフト大賞 2020 高知賞